

## ◆セルフトレーニング問題2023◆

### ■ 問題 ■

問題 1 73歳，女性の人間ドック健診受診者．ピアノ教師をしており，約1年前から，ピアノをひくと両側手指の関節痛を自覚した．このため，約2週間前，近医（内科）を受診し，血液検査で血清リウマトイド因子陰性と言われ，人間ドック健診を受診した．診察における手を写真に示す．最も考えられる診断名は何か．1つ選べ．

- (a) 血清反応陰性関節リウマチ
- (b) 変形性関節症
- (c) リウマチ性多発筋痛症
- (d) 血清反応陰性脊椎関節炎
- (e) RS3PE 症候群



問題 2 産業医の職務に含まれないのはどれか．1つ選べ．

- (a) 衛生教育
- (b) 作業の管理
- (c) 作業環境の維持管理
- (d) 作業関連疾患の治療
- (e) 健康診断結果に基づく措置

問題 3 C型肝炎ウイルスの肝外病変として該当しないのはどれか．1つ選べ．

- (a) クリオグロブリン血症
- (b) 慢性糸球体腎炎
- (c) 晩発性皮膚ポルフィリン症
- (d) 甲状腺炎
- (e) 総胆管結石

問題 4 不鮮明な眼底写真が得られた際に最も考えにくい疾患，病態は何か。1つ選べ。

- (a) 白内障
- (b) 角膜混濁
- (c) 硝子体混濁
- (d) 黄斑前膜
- (e) 星状硝子体症

問題 5 糖尿病の診断において，糖尿病型であるかどうかの判定に用いられないのはどれか。2つ選べ。

- (a) HbA1c
- (b) 随時血糖
- (c) 空腹時血糖
- (d) グリコアルブミン
- (e) 75g 経口糖負荷試験 1 時間値

問題 6 マイコプラズマ肺炎について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 喀痰のグラム染色で陽性球菌を認める。
- (b) マクロライド系抗菌薬が第一選択薬である。
- (c) 高齢者に多い肺炎である。
- (d) 採血では白血球が高値となる。
- (e) 頑固な乾性咳嗽が特徴である。

問題 7 診察室血圧測定法として誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) カフ下端を肘窩より 2～3cm 上に巻く。
- (b) 1～2 分の間隔をあけて少なくとも 2 回測定する。
- (c) カフ排気速度は 2～3mmHg/拍あるいは秒とする。
- (d) 測定前に喫煙，飲酒，カフェインの摂取を行わない。
- (e) 会話をしながら測定する。

問題 8 一過性脳虚血発作 (TIA) に関して誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) TIA 後の脳梗塞発症の危険度予測には，ABCD2スコア (年齢，血圧，臨床症状，症状持続時間，糖尿病) が有用である。
- (b) TIA 発症後90日以内に脳卒中を発症する危険度は 1～3% である。
- (c) TIA の急性期 (48時間以内) の再発予防には，アスピリン160～300mg 投与が有効である。
- (d) 非弁膜症性心房細動による心原性の TIA 再発予防にはワーファリンが有効である。
- (e) 狭窄率70%以上の頸動脈病変による TIA に対しては，頸動脈内膜剥離術 (CEA) が推奨される。

問題9 CA125が高値を示さないのはどれか。1つ選べ。

- (a) 月経中
- (b) 妊娠初期
- (c) 子宮内膜症
- (d) 子宮付属器炎
- (e) 子宮頸管ポリープ

問題10 慢性腎臓病の高血圧治療においてアンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害薬／アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）が第一選択薬に含まれない例はどれか。1つ選べ。

- (a) 67才，男性 糖尿病 eGFR27mL/min/1.73m<sup>2</sup> 尿蛋白（-）
- (b) 70才，男性 非糖尿病 eGFR43mL/min/1.73m<sup>2</sup> 尿蛋白（+）
- (c) 55才，男性 非糖尿病 eGFR75mL/min/1.73m<sup>2</sup> 尿蛋白（+）
- (d) 45才，女性 非糖尿病 eGFR66mL/min/1.73m<sup>2</sup> 尿蛋白（-）
- (e) 78才，女性 糖尿病 eGFR25mL/min/1.73m<sup>2</sup> 尿蛋白（+）

問題11 婦人科がん検診について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 子宮頸管ポリープはそのほとんどが良性であり，摘出は勧められない。
- (b) 卵巣腫瘍の検出・鑑別診断には内診，超音波検査，MRI，腫瘍マーカーなどが用いられる。
- (c) 良性と考えられる卵巣嚢胞では大きさが6cm 以上でも手術は勧めなくてよい。
- (d) 卵巣子宮内膜症性嚢胞（チョコレート嚢胞）の悪性変化は50歳以上で有意に頻度が上昇する。
- (e) 子宮頸部細胞診の判定でLSILは軽度異形成である。

問題12 橋本病について正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 女性における発症が男性の3倍程度である。
- (b) TgAb，TPOAb陽性患者であっても殆どの例は甲状腺機能正常である。
- (c) レボチロキシナトリウム（チラーヂンS<sup>®</sup>）の初期投与量は100マイクログラムとする。
- (d) 血中コレステロールの低下から見つかることも多い。
- (e) 動悸，息切れ，体重減少などの機能亢進症状を来すことはない。

**問題13** ストレスチェック制度について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) ストレスチェックの結果によって高ストレスと判定された労働者については、事業者は速やかに休職できるよう支援することが求められる。
- (b) ストレスチェックの実施率は大規模事業場ほど高い。
- (c) ストレスチェックの結果を踏まえて、産業医は法定健診の一環として問診を実施できるが、問診結果を事業者に伝達することはできない。
- (d) 高ストレス者のうち約30%が医師による面接指導を受けると現状報告されている。
- (e) 集団分析は職場環境改善の参考になる。

**問題14** 40歳男性、健診で軽度の血小板減少を指摘された。末梢血の血算の検査結果は、白血球 $5,200/\mu\text{L}$ 、赤血球 $432万/\mu\text{L}$ 、Hb  $14.1/\text{dL}$ 、Ht  $40.6\%$ 、血小板 $8.2万/\mu\text{L}$ であった。問診では他施設で巨大血小板を指摘されており、母親も同様の所見であったという。下記の中で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- (a) 特発性血小板減少性紫斑病
- (b) Bernard-Soulier 症候群
- (c) Wiscott-Aldrich 症候群
- (d) May-Hegglin 異常
- (e) 血小板無力症

**問題15** 心房細動 (AF) に対して抗不整脈薬を使わずにカテーテルアブレーション治療を第一選択として選ぶ最も良い病態はどれか。1つ選べ。

- (a) 左房内血栓が疑われる AF
- (b) 真の初発の発作性 AF
- (c) 肥満、高血圧、喫煙、甲状腺機能亢進症など可逆的な要因がある AF
- (d) 症候性発作性 AF
- (e) 高齢者の長期持続性 AF

**問題16** 骨粗鬆症について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 骨粗鬆症は骨強度の低下を特徴とし、骨折リスクが増大した状態である。
- (b) 骨強度の約70%は骨密度により説明され、残りの約30%が骨質により説明される。
- (c) 骨密度が若年成人平均値 (young adult mean: YAM) の70%以下の場合、脆弱性骨折がなくても骨粗鬆症と診断される。
- (d) FRAX (fracture risk assessment tool) は今後10年以内の骨折発生リスクを予測するツールであり、その質問項目の一つに両親の椎体骨折歴が含まれる。
- (e) 75歳未満で骨密度 YAM70%より大きく80%未満の場合、FRAXにより算出された確率が15%以上であれば骨粗鬆症の治療を開始する。

**問題17** 労災保険における二次健康診断等の給付事業における二次健診として行う検査で、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 空腹時 HbA1c
- (b) 頸部超音波検査
- (c) 空腹時血中脂質検査
- (d) 微量アルブミン尿検査
- (e) 12誘導心電図検査

**問題18** 冠攣縮性狭心症について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 禁酒が不可欠である。
- (b)  $\beta$  遮断薬の併用は禁忌である。
- (c) 日本人よりも欧米人に多い。
- (d) Ca拮抗薬により発作が抑制される。
- (e) 動脈硬化病変部位は攣縮の好発部位である。

**問題19** 子宮頸がん検診について誤っているのはどれか。2つ選べ

- (a) 子宮頸がん検診における子宮頸部細胞採取は原則綿棒で行う。
- (b) 子宮頸がん検診における子宮頸部細胞採取は扁平上皮—円柱上皮境界 (SCJ) 領域を中心に行う。
- (c) 子宮頸がん検診の細胞診標本作成には不適正標本が減少することから LBC (液状検体法) が望ましい。
- (d) 子宮頸部細胞診の結果報告は日母分類もしくはベセスダシステムにより行う。
- (e) 子宮頸部細胞診が ASC-US の場合はハイリスク HPV 検査を行う。

**問題20** 特発性肺線維症の呼吸機能検査について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 拘束性障害
- (b) 肺コンプライアンス低下
- (c) フローボリューム曲線下行脚での傾きの減少
- (d) 閉塞性障害
- (e) 肺弾性収縮力の低下

問題21 多因子疾患の遺伝学的検査について誤っているのはどれか、2つ選べ

- (a) 多因子疾患は遺伝因子とライフスタイルなどの環境因子が関連しており、環境因子のほうが影響が強い。
- (b) ポリジェニックリスクスコアを含めて多因子疾患の遺伝リスク判定には決まった方式があり、検査会社間で統一されている。
- (c) 遺伝的リスクが高いと判定された疾患では、疾患発症リスクが上昇するだけで必ずしも発症するわけではない。生活改善による予防と定期的な健診が重要である。
- (d) 冠動脈疾患、アルツハイマー病、胃がんでも、遺伝リスクが高いグループの人が生活習慣をよく保つと、生活習慣の良くない人と比べて疾患発症を半分程度に低下させられることが示された。
- (e) ポリジェニックリスクスコアは有望であるが日本人データではまだ検討されていない。

問題22 機能性ディスペプシアについて正しいのはどれか、2つ選べ。

- (a) 自己記入式質問票は機能性ディスペプシアの診断に有用である。
- (b) 機能性ディスペプシアの治療においてプラセボの効果は大きい。
- (c) 機能性ディスペプシアの治療として、生活習慣指導や食事療法は有用でない。
- (d) 機能性ディスペプシアの治療として、酸分泌抑制剤は有用でない。
- (e) 機能性ディスペプシアの治療として、消化管運動機能改善薬は有用でない。

問題23 特定健康診査の詳細な健診項目に含まれないのはどれか、2つ選べ。

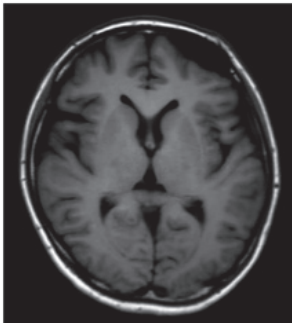
- (a) 喀痰検査
- (b) 眼底検査
- (c) 貧血検査
- (d) 12誘導心電図
- (e) 腹部超音波検査

問題24 ヘルシンキ宣言について誤っているのはどれか、1つ選べ。

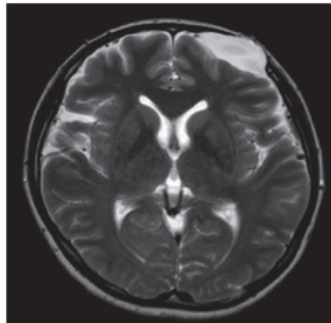
- (a) 被験者の人権保護を目的とする。
- (b) 利益相反について述べられている。
- (c) ニュルンベルク綱領を受けて採択された。
- (d) インフォームド・コンセントについて述べられている。
- (e) 治験を実施する際の国際的な共通ガイドラインである。

問題25 46歳女性の頭部 MRI（下図：T1強調像, T2強調像, FLAIR 像）で左前頭部に認められる疾患や病態はどれか. 1つ選べ.

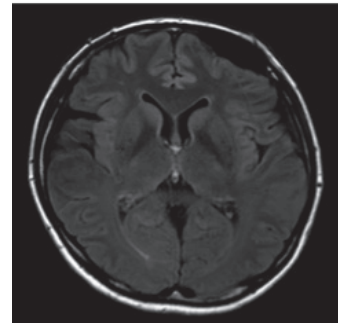
- (a) 髄膜腫
- (b) 多形膠芽腫
- (c) くも膜嚢胞
- (d) くも膜下出血
- (e) 慢性硬膜下血腫



T1 強調像



T2 強調像



FLAIR 像